

Apr.1.2024 Copyright 2024 HIROSE ELECTRIC CO.,LTD. All Rights Reserved.
本製品を車載用途などの高い信頼性が求められる機器にご使用の場合は、弊社までお問合せ下さい。

適用規格		MIL-STD-348B			
定 格	使用温度範囲	-55 °C ~ +125 °C (95 %RH以下)	保存温度範囲	-55 °C ~ +125 °C (95 %RH以下)	
	電 力	-- W	特性インピーダンス	50 Ω (0 ~ 30 GHz)	
	特 殊 性	----	使用ケーブル	—	
性 能					
	項 目	試 験 方 法	規 格	QT	AT
構造	外観, 構造, 仕上げ	目視, 寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○
	表 示	目視にて確認する。		—	—
電気的 性能	接 触 抵 抗	100 mA (DC or 1000 Hz) 以下で測定する。	中心コンタクト 6 mΩ 以下 外部コンタクト 6 mΩ 以下	○	○
	絶 縁 抵 抗	DC 500 Vで測定する。	1000 MΩ 以上	○	○
	耐 電 圧	AC 500 Vの電圧を 1 分間印加する。 (漏洩電流 2 mA以下)	せん絡, 絶縁破壊がないこと。	○	○
	電 圧 定 在 波 比 ①➤	周波数 0 ~ 6 GHzにて測定する。	VSWR 1.2 以下	○	—
		周波数 6 ~ 25 GHzにて測定する。	VSWR 1.35 以下	○	—
		周波数 25 ~ 30 GHzにて測定する。	VSWR 1.5 以下	○	—
	挿 入 損 失	周波数 -- ~ -- GHzにて測定する。	--- dB以下	—	—
機械的 性能	単 体 挿 抜 力	φ の鋼製ピンで測定する。	挿入力 --- N以下 引抜力 --- N以上	—	—
	総 合 挿 抜 力	適合コネクタで測定する。 [SMPJ-HKJ]	挿入力 45 N以下 引抜力 9 N以上	○	—
	繰 り 返 し 動 作 ①➤	500 回の抜き差しを行う。	①接触抵抗: 中心コンタクト 12 mΩ 以下 外部コンタクト 12 mΩ 以下 ②破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐 振 性 ①➤	周波数 10 ~ 500 Hz, 片振幅 0.75 mm, 加速度 98 m/s ² で 3 軸方向各 10 サイクル 試験する。	① 1 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐 衝 撃 性 ①➤	加速度 490 m/s ² , 持続時間 11 ms, 正弦半波 3 軸方向各 3 回試験する。		○	—
	ケーブルクランプ部の 引 張 り 強 度	-- mm/分でケーブル軸をケーブル抜け, 断線が 発生するまで引張り、最大荷重を確認する。	最大荷重 --- N以上	—	—
	環境的 性能	温湿度サイクルの 耐 湿 性 ①➤	温度 +25 ~ +65 °C, 湿度 90 ~ 98 %中に 10 サイクル (240 時間) 放置する。	①絶縁抵抗: 100 MΩ 以上 (高湿時) ②絶縁抵抗: 1000 MΩ 以上 (乾燥時) ③破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○
温 度 サ イ ク ル ①➤		温度 -55 → -- → +125 → -- °C 時間 30 → 3 → 30 → 3 分を 5 サイクル試験する。	破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—
塩 水 噴 霧 ①➤		濃度 5 %の塩水, 48 時間放置する。	VSWR 1.2 以下 (0~6GHz)	○	—
			VSWR 1.35 以下 (6~25GHz)	○	—
	VSWR 1.5 以下 (25~30GHz)		○	—	
	△の数	訂正記事	設計	検図	年月日
△					
備考 注 ①➤ 基板実装後の性能となります。			承 認	TO. KATAYAMA	18.06.13
			検 図	KY. SHIMIZU	18.06.12
			担 当	TM. YOSHIDA	18.06.12
			製 図	TM. YOSHIDA	18.06.12
試験規格の記載のない試験方法はIEC 60512 (対応規格JIS C 5402) を適用している。					
注 QT: 確認試験 AT: 製品検査 ○: 適用項目			図 番		
			SLC-375851-00-00		
HRS	製 品 規 格 表		製 品 名		
	ヒロセ電機株式会社		製品コード		
		SMP-LPR (LD) -SMT-1			
		CL338-1107-0-00			△ 1/1